

## 7部会合同の労使研修会に部会は今年も参加！

今年も1月22・23日に開催された合同労使会議に、昨年、部会が再起動して久々参加しましたが、今年も、9組合11人・3企業3人で参加し、基調講演で「地球温暖化と産業構造変化のメガトレンド」に関する講演を聴講し、二日目には、住宅設備部会と合同で、社会貢献活動や労働者派遣法改正を巡る論議などについて研修を行った。合同労使研修会に参加した、使側の参加者には、2010年春闘に関するJAM方針等について本部の小山副書記長から直接、説明をしました。



合同労使研修会の開催に先立ちJAMの業種別部会担当副会長としての挨拶をする大塚副会長、写真上

労使研修会2日目は、住宅設備部会と合同で、個別課題研修として、「地域に根ざした社会貢献活動」と「労働者派遣法改正をめぐる論議」について、講師を招いて講演形式の研修を行った。



二日目の研修会の開会を宣言する住設部会の中武事務局長・写真左、労働者派遣法の改正論議を説明する小山副書記長・写真上

今年の合同労使研修会は、当該部会も参加して都合7業種別部会・総勢140人が、毎年会場としている静岡県の熱海後楽園ホテルに集まって開催された。この研修会は、2001年1月に初回の合同労使研修会が開催されてから、業種別部会としての春闘の取り組みに関する情報交換と意思確認中心に開催され、今年で通算10回目の開催となった。

今年の春闘方針は、景気の回復が未だ滞っており、ナショナルセンター台での春闘取組方針も守り姿勢が全面に出て、明らかに求心力に欠ける結果となっている。研修テーマの選択では、環境変化対応した経営がキーワードであるといった講演テーマを選ぶなどスタッフの苦勞の跡が見られる研修会であった。



\*本ニュースは、FAXで発信しましたが、電子データを必要とする方は、私、清水のEメールアドレスにテスト送信でアクセスしてください。 nobuyuki.shimizu@jam-union.jp